


鞍手地区点検評価委員会の意見書

令和2年8月17日


鞍手町教育委員会 殿

点検評価委員会

委員 福岡教育大学

豊島啓 


委員 宮若市

波止 

委員 鞍手町

染川喜久 

委員 小竹町

高津由紀 

令和元年度の貴教育委員会の運営状況について、点検及び評価をしましたので、別紙
のとおり意見を報告いたします。

別紙

	点検及び評価に関する委員会の意見
教育委員会の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員会の運営及び委員活動については、概ね良好に実施運営されている。
教育施策の主要施策の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎・基本の定着と活用力の育成 ○ 学力向上プランの活用促進 (R-P.D.C.A) ○ いじめ・不登校児童生徒に対する取り組みの推進 ○ 公民館事業の推進及び活動の促進 ○ 人権・同和教育の推進 ○ 歴史民俗博物館、石炭資料展示場の充実・発展
取組・事業の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力向上委員会を設置し、全国学力学習状況調査・福岡県学力調査の結果を踏まえて各学校での成果や課題を明らかにし、基礎・基本の定着を図り、学力向上への取り組みを行っている。 ○ 心の充実を図るため、中学校にスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを配置し、いじめ・不登校問題について取り組んでいる。また、中一ギャップの解消につながるよう、中学校入学説明会の合同実施や体験授業を行った。 ○ 子どもの読書を推進するため、各小学校の1年生に図書だより・図書室利用案内・図書カード登録申込用紙を配付し、図書室の利用を促した。 ○ 各小学校と中学校の7ヶ所で開催している人権問題地区学習会では、学校行事と連携したことにより、地域の方々が児童・生徒と一緒に参加することができ、参加者の増加につながっている。 ○ 博物館では、10月から企画展「古月横穴 史跡の保存と整備」を約2ヵ月間開催し、開催期間中で734人の来館者があった。今後も充実した企画展が開催できるよう詳細な調査を行い、わかりやすい展示を心がけ、企画展に取り組んでいく。

令和元年度 教育委員会点検評価書

	事業の区分	事業の内容及び状況並びに評価
教育委員会の開催状況	【定例教育委員会】	開催回数 <u>12回</u> 議案件数 <u>73件</u> (議案内訳) 条例・規則等 <u>0件</u> 、 予算案 <u>1件</u> 計画・方針等 <u>11件</u> 、 人事案 <u>2件</u> 教育委員会行事等 <u>17件</u> 、 教職員管理等 <u>18件</u> いじめ・不登校問題等 <u>2件</u> 、 その他 <u>22件</u>
	【臨時教育委員会】	令和元年3月25日 (案件：人事案件についての審議)
	【総合教育会議】	令和元年5月24日・令和元年10月30日 (案件：鞍手町の今後の教育行政について・小学校のあり方について)
教育施策の主要施策	①「確かな学力」の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音読や百マス計算など徹底的な反復学習を行い基礎学力の向上や定着に取り組んだり、毎朝マラソンを行い体力の向上に取り組んだりするなど、各学校が特色を生かした教育活動を行っている。 ○ 学力向上委員会を設置し、全国学力学習状況調査・福岡県学力調査の結果を踏まえて各学校での成果や課題を明らかにし、学力向上推進を行っている。 ○ 小学校では、毎年指定される学校が研究発表を行うことで、児童の基礎学力の向上及び教職員の指導力向上の推進に貢献している。また、2名のALTが小・中学校を巡回して英語授業を行うことで、英語でのコミュニケーション能力育成を行っている。
	②豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度福岡県道徳教育推進事業の委託を受け、新延小学校と鞍手中学校で道徳教育の実践的研究を行い、発表会を開催した。 ○ 中学校と小学校2校において、地域の職業人を招き「キャリア教育夢授業」を実施した。
	③ICTの活用等による新たな学びの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ リース期間満了に伴い、小学校の教育用パソコンを更新した。 ● プログラミング的思考能力の育成については、各学校での取り組みにバラつきがある。

<p>④学校教育における 人権教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各小中学校において、人権教育に対する教職員の認識・意欲の高揚のため、年間を通じて研修会を実施するとともに、校外における各種研究会への参加奨励を行っている。また、各小中学校で、各教科・道徳・特別活動と関連付けながら人権学習の時間を設けている。 ○ 町の実態をもとに地元教材づくりを進め、「笑顔になれる町」（4年生）、「炭鉱マップ」（5年生）を発行した。次年度に3年生と6年生の教材が発行できるよう、授業実践とそれに基づいた改善を行っている。
<p>⑤特別支援教育の充 実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援学級に町費負担の支援員を配置しており、児童生徒の実態に応じた学習支援が出来ている。 ○ 特別支援教育連携協議会において、保幼少の他、鞍手町保健師と合同で就学前の児童の情報を交換・共有し、一貫した指導が出来るように協議会を実施した。 ○ 剣北小学校に通級指導教室を設置し、自校通級、巡回による指導により、よりきめ細かな指導を行うことができた。
<p>⑥生徒指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中一ギャップを少しでも解消できるよう、小中連携事業として中学校の入学説明会の合同実施、体験授業を行った。また、西川小と室木小が合同で修学旅行を実施した。 ○ 県が中学校に配置しているスクールカウンセラーが小学校も巡回し、いじめ・不登校問題の解決に向けて連携を図っている。 ○ 町単独でスクールソーシャルワーカーを配置し、いじめや不登校、虐待、貧困など、学校や日常生活における問題に直面する子どもの支援を行っている。
<p>⑦健康・安全指導の充 実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各小中学校で体力向上プランを作成し、体力向上の取り組みを行っている。また「1校1取組」を作成し、重点化した実践を行った。 ○ 登下校時、児童生徒の安全確保のため青色パトロール活動を行っている。また、PTA 連絡協議会からの要望に対し、県土整備事務所・警察・行政・教育委員会・学校で現地を確認し、改善等の協議を行っている。 ● 要望があったものについて、設置条件や用地買収等を伴うものがあり、改善できていないところがある。

教育施策の主要施策

<p>⑧教職員の研修活動 促進と資質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各小中学校において、新学習指導要領の趣旨について校内研修会を行い、周知徹底を図った。 ○ 各小中学校で研究テーマを設定し、職員一人ひとりが公開授業を行うなど、共同研究を実施している。 ○ 小中学校共通の取り組みを確認するため、夏季休業中に小中学校合同研修会を実施した。 ○ 校区連携事業で、「人権を尊重した授業づくり」を共通のテーマとし、全体講演やグループ討議を行った。
<p>⑨教職員の職務遂行 とサービスの厳正</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内研修や県教育委員会の研修会への積極的な参加により、飲酒運転、わいせつ行為、政治的行為、個人情報への適切な取り扱い、その他信用失墜行為の禁止など、綱紀の厳正な保持について指導の徹底を図っている。また、各学校において、管理職が日常的に綱紀の厳正な保持についての指導を行っている。
<p>⑩教育諸条件の整備 充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校の普通教室（特別支援学級を含む）と図書室に空調設備を設置し、夏季の学習環境を改善した。その他、各学校の緊急的な修繕工事などを施工したことにより、学習環境の整備が図られた。
<p>⑪学校給食の衛生管理 と指導の徹底</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度に民間委託導入検討委員会を開催し、一部民間委託が提言されたことを受け、平成30年度から調理・配送業務の民間委託を実施し、学校給食を安全かつ安定的に提供する体制を確立した。令和元年度は3ヵ年契約の2年目にあたり、衛生管理の改善に努めた。
<p>⑫学校と地域の連 携・協働</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各小中学校に地域の代表者による学校関係者評価委員会を設置し、学校評価の客観性・透明性を図り、より良い学校運営を目指している。

<p>⑬社会教育振興のための諸機関の完全機能化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 啓発活動や講演会などを実施し、男女共同参画社会の実現に向け積極的に取り組みを行うことができた。 ○ 土曜学習として、昨年同様、地域のボランティアの協力を得ながら、自学自習の「くらて寺子屋」を年間20回実施した。 ○ 学校・家庭・地域との連携のために、様々な機会を捉え、広報活動を行っている。そのため、学校・家庭・地域との連携は徐々に取り替わっている。また、本年度より、町内6小学校のうち2校を先行して放課後子ども教室を実施した。次年度から残り4校も実施予定である。 ● 中央公民館、体育施設などの公共施設は老朽化が進んでいるが、厳しい財政事情の中、なかなか環境の改善に至っていない。修繕、改修工事箇所の優先順位を検討し、順次、利用環境の改善に努める。令和元年度から、中央公民館の大規模改修工事（外壁等改修工事、空調設備改修工事、照明改修工事）を実施している。（繰越事業）また、町民グラウンド防球ネット設置工事を実施した。
<p>⑭生涯学習まちづくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育所及び保健センターへ配本を行っているが、今年度からは鞍手幼稚園にも配本を始め、多くの子ども達に絵本を提供することができた。 ○ 子どもの読書を推進するため、各小学校1年生に図書日より、図書室利用案内、図書カード登録申込用紙を配布し、図書室の利用を促した。
<p>⑮青少年の健全育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 青少年の健全育成に向け、地域と連携しながら、青色回転灯防犯パトロール活動や青少年健全育成講演会の開催等の事業を実施した。 ○ 地域の子どもの教育力向上、及び健全育成のため、子ども会と保護者が一体となった自主的な活動を行うことにより、その効果が徐々に表れた。 ○ 「子どもフェスタくらて」を実施する際に、各小学校区より30名の実行委員が10回の実行委員会を開催し、さまざまな体験型イベントを計画・実施した。

⑩生涯スポーツの振興

- インターネットによる施設予約により、住民サービスの向上につながった。
- 町体育協会は、9団体561名が会員として活動しているが、団体によっては会員の減少により活動の低迷が見られる。また、町民が一同に集まり、親睦を深め、スポーツを行う町民体育祭を開催してきたが、昨今出場者が減少傾向にあり、実施内容について今後検討が必要である。
- 町民一人ひとりがスポーツに親しみ、健康で楽しく暮らしていけるような施設の提供及び管理運営に努めているが、各施設の老朽化が進み、一部修繕、改修工事が必要な箇所が多く見られるため、今後も計画的な修繕工事が必要である。

⑪豊かな文化的環境づくり

- 加盟団体減少と会員の高齢化が進むなか、中央公民館を拠点にして、地域文化活動を積極的に取り組んでいる。課題は、サークルの新規会員加入や継続的な活動への取組が必要なことである。
- 文化財を紹介する解説板を計画的に修理・新設し、文化財保護活用に努めた。
- 地域の祭り・行事の調査、記録保存（撮影）を積極的に行い、保存に関わる町民の意識が高まるように努めた。また、祭りの用具等の整備に関して各種補助を行った。
- 博物館では、企画展「古月横穴 史跡の保存と整備」を開催し、展示内容の充実に努め、来館者の増加につなげた。

教育施策の主要施策

⑱ 社会教育における
人権・同和教育の推
進

- 町内の各小学校と中学校の合計7ヶ所で人権問題地区学習会を開催した。学校行事と連携したことにより、地域の方々が児童・生徒と一緒に受けることができる講座の開設となり、参加者の大幅な増につながった。
- 小中学生を対象とした人権子ども会を実施し、学習や体験活動を通して、人権啓発の取り組みを充実させることができた。今後も継続していく。
- 小中学校で開催している人権問題地区学習会には、児童生徒に加え、保護者の参加があり成果をあげているが、毎年5・6月の人権教育学級、7月の同和問題啓発強調月間・12月の人権週間の集い講演会についての参加者は各自治区の代表者が多く、参加者が固定化傾向にある。

取組・事業の状況	主な実施事業	関係総予算額	評 価
	基礎学力実態調査 (小・中)	千円 708	基礎学力実態調査を行い、児童生徒の学力の状況を把握し、教育指導や学習状況の改善等に役立っている。
	国際理解教育 (ALT の雇用)	10,081	昨年に引き続き ALT を 2 名配置し、小中学生が英語に触れ合う機会を増やし、英語教育を推進している。
	学習アシスタント (各学校 2 回×35 週)	636	学習アシスタントを各学校へ派遣し基礎学力の向上個々に応じた学習指導の充実を図った。
	図書購入 (小・中)	3,058	図書充足率 100% を目指して、学校図書の整備を図ることができた。
	特別支援員 (なかよし学級補佐)	17,086	小学校 6 校に 11 名、中学校に 3 名の特別支援員を配置し、支援を要する複数の児童生徒に対し、教育的効果を上げた。
	スクールソーシャル ワーカー派遣	3,120	いじめや不登校、虐待、貧困など学校や日常生活における問題に直面する子どもを支援するスクールソーシャルワーカーの配置を行った。
	児童生徒の安全確保	32,929	中学生の通学のため、スクールバスを 5 台購入した。
	小学校教育施設工事	219,288	小学校の空調設備設置工事を行った。
	学校教育施設営繕 (小・中・高)	8,278	小学校 6 校、中学校、豊翔館の施設の修繕を行うことにより、施設環境の整備に努めた。
学校教育施設 除草業務委託	18,959	小・中・豊翔館の除草業務等の業務委託を行った。	
給食調理配送業務	29,806	学校給食の調理・配送業務の外部委託を行った。	

取組・事業の状況

社会教育施設修繕、 改修工事	241, 510	中央公民館の大規模改修工事を行った。
施設管理委託	22, 838	体育施設・公民館施設・文化財・博物館などの、持管理について適切な業務委託契約を締結し施設管理を行っている。
青少年育成町民会議 補助	1,040	地域と学校が連携して行う活動である。今後も継続活動を行う必要がある。
子ども会育成補助	160	子ども会連絡協議会が主体となって、地域の子ども会活動の指導を行っているが、子どもが年々減少している中、地域の実情に応じた支援を行う必要がある。
子どもフェスタ	23	子ども達が主体となって企画・運営を行うことで、一人ひとりの個性が発揮でき、同世代の仲間との絆が深まるなど、青少年の健全育成につながっている。
スポーツ推進委員	360	スポーツ推進委員は各体育行事の普及活動に尽力していただいております、スポーツ振興に欠かせない存在である。
町体育協会補助	911	町内で活躍するスポーツ団体の支援を行っている町体育協会に対し、補助金を交付している。
少年スポーツ育成 補助	390	町の少年スポーツ団体が九州大会以上に出場する場合、助成金を交付している。
文化連盟育成補助	400	文化連盟会員の高齢化と会員数減少で衰退している中、年間行事は継続されている。今後の活動をすすめる上で、加盟団体が連携し、協力する必要がある。
自治公民館育成補助	686	各自治公民館の活動に対し、補助金の交付による支援を行っている。
文化財保護団体助成	328	地域の歴史遺産や伝統芸能を継承する上で、文化財保護団体は重要な役割を持っているため、各団体に補助金を交付し、文化財保護活動を支援することで文化財保護につなげている。

取組・事業の状況	人権・同和問題担当者 啓発冊子・研修会講師 謝金等	1, 0 4 8	同和問題をはじめとしたあらゆる差別を根絶するため、人権問題地区学習会を開催した。今年度も学校行事と連携することで参加者の増加につながった。
	少年期啓発の人権・体験学習活動講師謝金等	8 1 0	人権子ども会において、異年齢の子ども同士による人権学習活動、体験学習活動を通して少年期からの人権意識を高めることができた。